

命を見つめる日（6月1日）

小学校3年生の6月，母が
「部屋に戻りなさい。」
と怒鳴った。祖父の命が危ないとき。

葬式が終わり，火葬場に行き，最後のお別れ。
その時，初めて人が燃やされることを知った。
燃やされたらどんな気持ちかな。
熱いんじゃないかな。
生きていたらどうするの。
自分が燃やされたら・・・。
その夜は，いろんなことが頭を駆け巡り，
怖くて眠れなかった。

私が命と真剣に出会った最初の出来事だった。

命と真剣に向き合うのは，恐ろしいもの。
しかし，そこから逃げてはいけない。
命と向き合うからこそ，真剣に生きるのだと思う。



佐世保市では，毎年6月1日を「命を見つめる日」として，様々な取組を行ってきました。今年度は，新型コロナウイルス感染症対策として，「命を見つめる強調月間」は延期していますが，「命を見つめる日」はこれまで通り，校長講話として行いました。子どもたちに命の大切さを校内放送にて話しました。

校長講話は，3年生児童，6年生児童をゲストに，インタビュー形式で行いました。そこで，次の質問をしました。

Q1 「命は大切だなと思った出来事はありませんか。」

Q2 「生きるとは，どんなことだと思いますか。」

それぞれがきちんと自分の考えや思いを話してくれました。私も勉強になりました。御家庭におかれましても，話題にしていただければ幸いです。

最後に「手のひらを太陽に」をみんなで鑑賞しました。この歌詞は、アンパンマンをかいた「やなせたかしさん」が作詞したものです。歌詩を読むたびに命について私も考えさせられます。よろしかったら、ご家族で口ずさんでみてください。

手のひらを太陽に

作詞：やなせたかし 作曲：いずみたく

ぼくらはみんな 生きている 生きているから 歌うんだ
ぼくらはみんな 生きている 生きているから かなしいんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば まっかに流れる ぼくの血潮
ミミズだって オケラだって アメンボだって
みんな みんな生きているんだ 友だちなんだ

ぼくらはみんな 生きている 生きているから 笑うんだ
ぼくらはみんな 生きている 生きているから うれしいんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば まっかに流れる ぼくの血潮
トンボだって カエルだって ミツバチだって
みんな みんな生きているんだ 友だちなんだ

ぼくらはみんな 生きている 生きているから おどるんだ
ぼくらはみんな 生きている 生きているから 愛するんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば まっかに流れる ぼくの血潮
スズメだって イナゴだって カゲロウだって
みんな みんな生きているんだ 友だちなんだ

7 月授業参観開催予定

保護者の皆様にご覧いただく学校での様子を公開することができませんでしたが、ようやく7月に授業参観を開催することができそうです。しかし、新型コロナウイルス感染状況に応じて、変更する場合があります。あくまでも、予定ということでお知らせします。

また、今回の授業参観も三密を可能な限り避けた形で行います。御迷惑をおかけしますが、御理解、御協力の程をよろしくお願いいたします。日時と学年のみお知らせし、詳しい内容は後日、文書にて再度お知らせしますので御確認ください。

7月1日（水）13：45～14：30	1年1組，2年1組，3年1組，4年1組，5年1組， 6年1組，たんぽぽ学級
7月3日（金）14：05～14：50	1年2組，2年2組，3年2組，4年2組，5年2組 6年2組，6年4組，ひまわり学級
7月6日（月）14：05～14：50	1年3組，2年3組，4年3組，5年3組，6年3組

なお、授業参観終了後、学級懇談を予定しています。